

吸収合併に係る事前開示書面

(会社法第794条第1項及び会社法施行規則191条に基づく書面)

2022年11月16日

イーグル工業株式会社

2022年11月16日

東京都港区芝大門一丁目12番15号
イーグル工業株式会社
代表取締役社長 鶴 鉄二

当社は、2022年7月18日付で、イーグル・エンジニアリング・エアロスペース株式会社との間で締結した吸収合併契約に基づき、2023年1月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、イーグルサービス株式会社を消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」）を行うこととしました（以下、当社を「存続会社」、イーグル・エンジニアリング・エアロスペース株式会社を「消滅会社」）。

本合併に関する、会社法第794条第1項および会社法施行規則第191条の定める事項は下記のとおりです。

1. 吸収合併契約の内容

別添1のとおりです。

2. 合併対価の相当性および割当ての相当性

存続会社は消滅会社の発行済株式全部を所有しているため、本合併に際しては株式の発行および金銭等の交付は行いません。

3. 新株予約権の承継に関する相当性

消滅会社は、新株予約権を発行していません。

4. 最終事業年度に係る計算書類等に関する事項

別添2の消滅会社の計算書類等のとおりです。

5. 最終事業年度の末日後に生じた会社財産の状況に重要な影響を与える事象

該当事項はありません。

6. 債務の履行の見込みに関する事項

2022年3月31日現在、存続会社および消滅会社の貸借対照表における資産の額、負債の額および純資産の額は下表のとおりであり、本合併後、存続会社の資産の額は負債の額を十分に上回ることが見込まれます。

	資産の額	負債の額	純資産の額
存続会社	131,580 百万円	69,933 百万円	61,646 百万円
消滅会社	574 百万円	3 百万円	570 百万円

本合併後の存続会社の収益状況について、存続会社および消滅会社の負担すべき債務の履行に支障を及ぼすような事態は、現在のところ予測されていません。よって、本合併により、存続会社および消滅会社の負担すべき債務について、履行の見込みがあると判断します。

以上

別添 1

合併契約の内容

合併契約書

イーグル工業株式会社（以下「甲」という。）とイーグル・エンジニアリング・エアロスペース株式会社（以下「乙」という。）は、以下の通り吸収合併契約（以下「本契約」という。）を締結する。

第1条（合併の方法）

甲及び乙は、甲を存続会社、乙を消滅会社として、吸収合併（以下「本合併」という。）を行う。

第2条（当事者の商号及び住所）

本合併の当事会社の商号及び住所は、以下の通りである。

吸収合併存続会社：イーグル工業株式会社

東京都港区芝大門一丁目12番15号

吸収合併消滅会社：イーグル・エンジニアリング・エアロスペース株式会社

東京都港区芝大門一丁目12番15号

第3条（効力発生日）

本合併がその効力を生ずる日（以下「効力発生日」という。）は、2023年1月1日とする。但し、合併手続の進行に応じ必要があるときは、甲及び乙は、協議の上、これを変更することができる。

第4条（合併対価）

甲は、乙の発行済株式の全数を有しているため、本合併に際し、合併対価の交付は行わない。

第5条（資本金及び準備金）

本合併に際し、甲の資本金、資本準備金及び利益準備金の額は変動しないものとする。

第6条（会社財産の管理等）

甲及び乙は、本契約締結後、効力発生日に至るまで、善良なる管理者の注意をもってそれぞれの業務及び財産の管理運営を行い、本合併に重大な影響を及ぼす事項を行うときは、別途協議の上、相手方の同意を得て行うものとする。

第7条（会社財産の承継）

甲は、効力発生日において、乙の資産、負債その他一切の権利義務を承継する。

第8条（条件の変更及び解除）

本契約締結後、効力発生日に至るまでの間に、不可抗力その他の事由により、甲又は乙の財産又は経営状態に重大な変動が生じたときは、甲及び乙は、協議の上、本契約の条件を変更し、又は、本契約を解除することができる。

第9条（本契約の効力）

本契約は、本契約について必要な法令に基づく関係官庁等の承認や許認可等が得られなかった場合は、その効力を失う。

第10条（規定外事項）

本契約に定めるもののほか、本合併に関し、必要な事項は、甲及び乙が協議の上、定める。

以 上

本契約成立の証として、本契約書1通を作成し、甲乙記名捺印の上、甲は原本を、乙は謄本を保有する。

2022年7月18日

東京都港区芝大門一丁目12番15号

(甲) イーグル工業株式会社

代表取締役社長 鶴 鉄二

東京都港区芝大門一丁目12番15号

(乙) イーグル・エンジニアリング・エアロ
スペース株式会社

代表取締役社長 鶴 鉄二

別添 2

消滅会社の計算書類等

第 34 期 事業報告

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

1. 事業の経過および成果

当事業年度の世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、経済活動の停滞、景気の低迷に陥りました。こうした環境のなか、航空宇宙業界においては、民間航空機市場の低迷ならびに衛星向け製品の遅れの影響を受けました。

このような状況のもと、弊社の年度売上高は41百万円と前期比5百万円増加(14.6%増加)となりました。経常利益は前期比1億94百万円減少の21百万円、当期純利益は前期比1億99百万円減少の16百万円となりました。

2. 当社が対処すべき課題

当年度も航空機用機器関連製品の拡販を進めてまいります。

3. 直前三事業年度の財産および損益の状況の推移

区 分	2019 年度 (第 32 期)	2020 年度 (第 33 期)	2021 年度 (第 34 期)
売上高 (百万円)	30	36	41
経常利益 (百万円)	△5	215	21
当期純利益 (百万円)	△5	216	16
1株当り当期純利益(円)	△2,984.16	113,829.90	8,797.19
総資産 (百万円)	346	559	574
純資産 (百万円)	337	553	570

[2019年度] 航空機用機器関連製品の販売の落ち込みにより赤字決算となりました。

[2020年度] 海外子会社からの受取配当金により前年対比で大幅に利益増となりました。

[2021年度] 前記「事業の経過および成果」に記載の通りであります。

4. 重要な親会社および子会社の状況

(1) 親会社との関係

当社の親会社はイーグル工業株式会社で、同社は当社の議決権を 100%所有しております。

(2) 親会社等との間の取引に関する事項

当社は親会社との間で「当社製品等の販売」、「金銭消費貸借」等の取引を実施しております。当該取引価格決定に当たっては、市場の実勢価格等を勘案しており、資金の受入金利につきましても、市場金利を勘案の上で決定しております。

(3) 重要な子会社の状況

該当事項はありません。

5. 会社の株式に関する事項（2022年3月31日現在）

(1) 発行可能株式総数 6,000 株

(2) 発行済株式総数 1,900 株

(3) 株主数 1 名

(4) 株主構成

株主名	持株数	持株比率
イーグル工業株式会社	1,900 株	100%

6. 会社役員に関する事項（2022年3月31日現在）

氏名	地位および担当	兼職の状況
鶴鉄二	代表取締役社長	イーグル工業株式会社代表取締役会長兼社長
松本洋志	取締役	イーグル工業株式会社執行役員 航空宇宙事業部長
野中和也	取締役	イーグル工業株式会社 航空宇宙事業部 副事業部長
池田澄男	監査役	イーグル工業株式会社常務執行役員経本部長

以上

貸借対照表

(2022年3月31日現在)

イーグル・エンジニアリング・エアロスペース株式会社

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	538,698	【流動負債】	3,850
現金及び預金	4	未払金	2,750
売掛金	43,688	未払法人税等	1,100
短期貸付金	491,911	【固定負債】	42
その他	3,094	繰延税金負債	42
【固定資産】	35,548	負債の部合計	3,892
(無形固定資産)	0	純 資 産 の 部	
電話加入権	0	【株主資本】	570,355
(投資その他の資産)	35,548	【資本金】	95,000
関係会社株式	35,548	【利益剰余金】	475,355
		利益準備金	23,750
		(その他利益剰余金)	451,605
		繰越利益剰余金	451,605
		純資産の部合計	570,355
資産の部合計	574,247	負債・純資産の部合計	574,247

損益計算書

(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

イーグル・エンジニアリング・エアロスペース株式会社

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	41,270
売上総利益	41,270
販売費及び一般管理費	37,580
営業利益	3,690
営業外収益	17,853
受取利息及び配当金	13,417
その他	4,435
営業外費用	0
雑損失	0
経常利益	21,543
特別損失	113
子会社清算損	113
税引前当期純利益	21,430
法人税、住民税及び事業税	3,974
法人税等調整額	740
当期純利益	16,714

株主資本等変動計算書

(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

イーグル・エンジニアリング・エアロスペース株式会社

(単位：千円)

	株主資本				株主資本合計	純資産合計
	資本金	利益剰余金		利益剰余金合計		
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金			
当 期 首 残 高	95,000	23,750	434,890	458,640	553,640	553,640
当 期 変 動 額						
当 期 純 利 益			16,714	16,714	16,714	16,714
当 期 変 動 額 合 計	—	—	16,714	16,714	16,714	16,714
当 期 末 残 高	95,000	23,750	451,605	475,355	570,355	570,355

個別注記表

(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

関連会社株式 移動平均法による原価法

(2) 収益及び費用の計上基準

当社は、航空宇宙業界向けにメカニカルシール、特殊バルブ、その他密封装置関連製品等の仕入販売を行っており、これらの販売取引においては、他の当事者が関与しております。当該他の当事者により商品が顧客に提供されるように手配することが当社の履行義務であり、したがって代理人として取引を行っているとは判断していることから、純額で収益を認識しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末の発行済株式の種類及び総数

普通株式 1,900株

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：千円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減価償却累計額
無形固定資産	電話加入権	0	-	-	-	0	
	計	0	-	-	-	0	

2. 販売費及び一般管理費の明細

(単位：千円)

科目	金額	摘要
広告宣伝費	179	
手数料	30,800	
役員報酬	6,600	
計	37,580	